

**委託事業実施内容報告書**  
**平成30年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業**  
**【地域日本語教育実践プログラム(B)】**

**実施内容報告書**

団体名：NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ

**1. 事業の概要**

事業名称	高校や大学と連携による若い世代の日本語ボランティア活動の普及と外国につながる子ども・若者のライフコースに沿った日本語教育支援体制の地域連携モデル構築
事業の目的	当団体は、平成29年度まで文化庁の委託事業（「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム）を実施してきました。その実績により構築された、幅広い地域連携を生かして、高校生や大学生（外国につながる当事者も含む）の活用による外国につながる子ども・若者のライフコースに沿った日本語教育支援体制を地域連携モデルとして構築することが目的です。連携によって構築された日本語教室の運営や連携によるセミナーなどの成果を発信し、先駆的な取り組みとして他地域にも広がることも目的としています。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	神奈川県北部地域（相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市等）は、定住する外国につながる子どもたちや若者が数多く生活している地域です。そのルーツは、中国、フィリピン、ブラジル、ペルー、ベトナム、カンボジア、ラオス、タイ、アメリカ、パキスタン、ネパールなど10数各国に及びます。しかしながら、大人向けの日本語教室はいくつかありますが、子どもや若者向けの日本語教室はほとんど無い地域です。また、地域の日本語教室の課題として上がっていることは、「ボランティアが集まらない」とか「ボランティアの高齢化」などです。こうした状況を踏まえ、当団体は高校や大学と連携した「相模大野教室（CEMLA）」を外国につながる子ども・若者向けに特化した日本語教室として2009年から実施してきました。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容の概要	前述のように、地域の日本語教室の課題として上がっていることは、「ボランティアが集まらない」とか「ボランティアの高齢化」などですが、当事業では高校や大学との連携によって高校生や大学生（外国につながる当事者も含む）のボランティアを募集し、直接外国につながる子どもや若者の日本語指導に当たるということで、他の日本語教室の課題解決の参考モデルとなるものだと考えます。 平成30年度は、これまでの日本語教室の運営を継続しながら、高校・大学・行政機関・地域との幅広い連携のモデル事業として、運営面、人材育成面、地域連携面から地域の日本語教室や他の地域への発信を目的として、次の4つの事業に取り組みました。 取組1：高校・大学と連携した学生ボランティア中心の活気ある日本語教室（相模大野教室CEMLA）の実施 取組2：高校・大学と連携した学生ボランティア中心の活気ある日本語教室（相模大野教室CEMLA）における実践を通じた人材育成 取組3：行政機関と学校（中学・高校・大学）と地域を結ぶライフコースに沿った日本語教育整備のための連絡協議会、研究会、セミナーの実施 取組4：高校生や大学生ボランティアが考える若者向け「日本語学習」の実践
事業の実施期間	平成30年6月～平成31年3月（10か月間）

**2. 事業の実施体制**

**(1) 運営委員会**

**【運営委員】**

1	永谷 直子	相模女子大学・講師
2	田中 暁龍	桜美林大学・キャリアセンター
3	三神 憲一	青山学院大学・講師
4	時乗 洋昭	神奈川県教育委員会・専門官
5	小西 一真	神奈川県教育委員会・企画室
6	伊原 伸一郎	神奈川県立弥栄高等学校・校長
7	井上 達也	神奈川県立弥栄高等学校・教諭
8	杉山 肇	神奈川県立相模原青陵高等学校・校長
9	角田 淳	神奈川県立相模原青陵高等学校・総括教諭
10	永井 慈史	神奈川県立相模原青陵高等学校・教諭
11	西川 富貴子	さがみはら国際交流ラウンジ・相談員
12	高橋 清樹	多文化共生教育ネットワークかながわ・事務局長



**【概要】**

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成30年10月20日(土) 13:00～15:00	2時間	弥栄高校	永谷直子、田中暁龍 時乗洋昭、井原伸一郎 井上達也、杉山肇 角田淳、永井慈史 西川富貴子、高橋清樹 (他にオブザーバー参加者あり)	1. 平成30年度の事業計画の説明と進捗状況の報告 2. CEMLA 研究会及びCEMLAセミナー（取組3）の実施計画についての検討 3. CEMLA教室の生徒の状況や日本語教育プログラムについての意見交換
2	平成31年1月24日(木) 15:00～17:00	2時間	相模女子大学	田中暁龍、時乗洋昭 三神憲一、井原伸一郎 井上達也、杉山肇 角田淳、永井慈史 西川富貴子、高橋清樹 (他にオブザーバー参加者あり)	1. 平成30年度の事業の進捗状況の報告 2. 平成30年度の事業の総括と平成31年度の事業計画についての検討 3. CEMLA 研究会及びCEMLAセミナー（取組3）の実施報告 4. CEMLA教室の生徒の状況や日本語教育プログラムについての意見交換

## (2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	当団体は、これまでも県教育委員会を始めとして、市町村教育委員会、中学、高校、大学との連携を幅広く行い、地域の日本語教室等とも連携してきました。また、さがみはら国際交流ラウンジ、横浜市国際交流協会、かながわ国際交流財団、大和国際化協会、かながわ県立国際文化アカデミア、神奈川県立地球市民あーすプラザなども連携してきています。特に本事業では、場所や人材提供を、相模原青陵高等学校、弥栄高等学校、日本語教育の専攻学部を持つ相模女子大学、桜美林大学と密接に連携して行いました。また、県内の若者サポートステーションとの連携で社会参加が困難な外国につながる若者の相談を定期的に行いました。
------	--

## (3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	すべての取組に対するコーディネーターを武一美と高橋清樹が務めました。 それぞれの取組に対しての中核メンバーおよび指導者が務めた役割は下記の通りです。 「取組：1」指導グループ4つに対して、指導補助ボランティア（高校生や大学生等）が4～5名で対応し、指導補助者7名と「取組：2」を含めた指導者3名を置きました。後者の指導者3は中核メンバーです。 「取組：2」「取組：1」での指導補助者への指導助言・研修を行う目的で指導者を3名置きました。いずれも中核メンバーです。 「取組：3」高校や大学や行政機関地域の日本語教室など支援団体の中で、武、佐屋、永井、高橋清樹が中心となって連絡協議会や研究会やセミナーの運営にあたりました。 「取組：4」「取組：2」の指導者3名と武、高橋清樹が加わり、中核メンバー4人で、高校生や大学生ボランティアが実施する「日本語学習」の助言にあたりました。
----------	--

3. 各取組の報告

＜取組1＞												
取組の名称	高校・大学と連携した学生ボランティア中心の活気ある日本語教室(相模大野教室CEMLA)の実施											
取組の目標	来日間もない外国につながる子ども・若者や小中高校で孤立しがちな外国につながる子ども・若者を対象に、世代の近い高校生や大学生のボランティアが日本語を教えることで、楽しく活気あふれる日本語教室を目指します。実施に当たっては、高校・大学・市や県の教育委員会と幅広く連携します。また、「取組2:人材育成」も含めて、地域日本語教育コーディネーターや日本語指導者がボランティアの指導助言に当たります。											
取組の内容	「相模大野教室(CEMLA)」では、相模女子大学の茜館をお借りし、毎週土曜日に2時間の日本語教室を開催しました。指導補助には、高校・大学との連携において、相模原青陵高校や弥栄高校の生徒や、相模女子大学や桜美林大学等の学生がボランティアとして当たりました。学習者のレベルごとに4グループ(初級2、中級以上2)を作り、1グループにボランティア数人と地域日本語教育コーディネーターや日本語指導者を1人以上配置して、学生ボランティアの指導助言に当たりました。											
<input type="checkbox"/>	空白地域を含む場合、空白地域での活動											
取組による体制整備	当団体がこれまで文化庁の本事業の委託を受けて実施してきた実績を踏まえ、「取組:2」や「取組:3」と合わせて、運営会議や連絡協議会などを通じて、高校・大学と密に連携し、高校生や大学生のボランティアの確保や人材育成のための研修などを進めました。											
取組による日本語能力の向上	初級者・・・個別指導を中心として「みんなの日本語」「みんなの日本語文型練習帳」、「かんじ大すき」、自主作成教材などを用いて学習していきました。日本に来たばかりの若者が対象となるので、日常生活を送る上で、日本語がわかり、使え、楽しいコミュニケーションが図れ、自信につながる学習を目標としました。学生ボランティアとの会話学習も生きた日本語学習として生かしていきました。 中級者以上・・・日本に来て1年～2年以上の若者が対象となりますが、これまで本事業で委託を受けた自主教材を含めて、社会参加に向けたソーシャルスキルの向上やコミュニケーション能力の向上、情報化社会の基礎知識の取得、今日的な社会課題やニュースに対する理解と表現、自分の将来や自立に向けた課題解決のための表現及び言語活動などを行いました。											
参加対象者	神奈川県北部地域(相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市など)に定住する外国につながる若者で、来日間もない者や日本語学習を通して社会参加を考えている者					参加者数 (内 外国人数)		延べ 776人(665人)				
広報及び募集方法	町村の行政窓口や地域の国際交流組織にチラシ等を配布し、広報 当団体のホームページやフェイスブックでの広報 地域の支援者や母語支援者を通してのロコミによる広報											
開催時間数	総時間 66 時間					内訳 2 時間 × 33 回						
主な連携・協働先	相模原青陵高校、弥栄高校、神奈川総合産業高校他県内高校。相模女子大学、桜美林大学、青山学院大学、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、さがみはら国際交流ラウンジ、かながわ国際交流財団、あーすぶらざ、大和国際化協会他											
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本		
	162	5	84	25	5	24	0	83	105	111		
※該当する場合のみ	カナダ(20人)、イタリア(13人)、イラン(25人)、カンボジア(8人)、コートジボアール(3人)、コロンビア(25人)、スペイン(16人)、パキスタン(28人)、バングラディシュ(1人)、ベルギー(3人)、ポルトガル(4人)、ミャンマー(26人)											
実施内容												
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・補助者名	指導補助ボランティア名				
1	平成30年6月2日(土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	25	自己紹介 基礎日本語力1 コミュニケーション力 1	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ大すき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○初めの出会いを大切にするため、「自己紹介」を取り入れた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 萩原カンナ	(交通費支給有) 斉藤祐香子 (交通費支給無) 15人				
2	平成30年6月9日(土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	27	基礎日本語力2 コミュニケーション力 2	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ大すき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 萩原カンナ	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 10人				

3	平成30年6月16日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	22	基礎日本語力3 コミュニケーション力 3	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 9人
4	平成30年6月23日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	27	インタビューしよう1 基礎日本語力4 コミュニケーション力 4	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○学習者がボランティアにインタビューする質問項目を考えた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 11人
5	平成30年6月30日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	25	インタビューしよう2 基礎日本語力5 コミュニケーション力 5	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 ※大学生ボランティアへのインタビューの実施とまとめ 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○学習者がボランティアに実際にインタビューした。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 7人
6	平成30年7月7日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	15	インタビューしよう3 基礎日本語力6 コミュニケーション力 6	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○学習者がボランティアにインタビューした答えの確認をした。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 13人
7	平成30年7月14日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	22	基礎日本語力7 コミュニケーション力 7	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 6人
8	平成30年7月21日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	18	基礎日本語力8 コミュニケーション力 8	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ	(交通費支給有) セツペイン (交通費支給無) 6人
9	平成30年8月25日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	12	簡単な作文づくり1 基礎日本語力9 コミュニケーション力 9	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○学習した語彙や文型を用いて、簡単な作文づくりをしてみる。	佐屋麻利子 蔡金燕 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 7人

10	平成30年9月8日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	23	簡単な作文づくり2 基礎日本語力10 コミュニケーション力 10	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○前回に引き続き、簡単な作文づくり	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 14人
11	平成30年9月15日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	22	交流会(大学生の留学体験発表) 基礎日本語力11 コミュニケーション力 11	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○留学体験のある大学生ボランティアの体験発表を聞く	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 阿部孝子(通訳)	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 8人
12	平成30年9月22日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	22	簡単な作文づくり3 基礎日本語力12 コミュニケーション力 12	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○作った作文を紙に書いて張り出し、発表する。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 7人
13	平成30年9月29日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	27	基礎日本語力13 コミュニケーション力 13	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	藤井美香 蔡金燕 妹背真理子 鈴木陽子	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 9人
14	平成30年10月6日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	35	コミュニケーションラブルを考えよう1 基礎日本語力14 コミュニケーション力 14	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「コミュニケーションラブルを考えよう」を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 妹背真理子 鈴木陽子	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 7人
15	平成30年10月13日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	36	基礎日本語力15 コミュニケーション力 15	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	藤井美香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子	(交通費支給有) 高貴小百合 (交通費支給無) 11人
16	平成30年10月20日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	33	コミュニケーションラブルを考えよう2 基礎日本語力16 コミュニケーション力 16	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「コミュニケーションラブルを考えよう」を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ	(交通費支給有) 高貴小百合 (交通費支給無) 6人

17	平成30年10月27日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	24	基礎日本語力17 コミュニケーション力 17	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子	(交通費支給有) 高貴小百合 (交通費支給無) 9人
18	平成30年11月10日(土) 10:00~12:00	2	ユニコム プラザさがみ はら	29	基礎日本語力18 コミュニケーション力 18	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和	(交通費支給有) 高貴小百合 (交通費支給無) 8人
19	平成30年11月17日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	29	コミュニケーション ラブルを考えよう3 基礎日本語力19 コミュニケーション力 19	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 ○自主教材「コミュニケーションラブルを考えよう」 を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和	(交通費支給有) 高貴小百合 (交通費支給無) 8人
20	平成30年11月24日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	21	基礎日本語力20 コミュニケーション力 20	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和	(交通費支給有) 尾形和馬 (交通費支給無) 9人
21	平成30年12月1日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	33	文化の違いからくる トラブル1 基礎日本語力21 コミュニケーション力 21	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「文化の違いからくるトラブルを考えよう」 を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ 佐々木利和	(交通費支給有) 高貴小百合 尾形和馬 (交通費支給無) 5人
22	平成30年12月8日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	19	基礎日本語力22 コミュニケーション力 22	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 妹背真理子 赤澤千佳子 佐々木利和	(交通費支給有) 尾形和馬 (交通費支給無) 8人
23	平成30年12月15日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	29	文化の違いからくる トラブル2 基礎日本語力23 コミュニケーション力 23	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「文化の違いからくるトラブルを考えよう」 を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ 佐々木利和	(交通費支給有) 尾形和馬 (交通費支給無) 8人

24	平成31年1月12日(土) 10:00~12:00	2	ユニコム ラザさがみ はら	26	百人一首を体験しよう 基礎日本語力24 コミュニケーション力 24	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○百人一首の説明を受けて、実際に百人一首の 体験を行った。(教室終了後も継続して行った。)	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ 佐々木利和	(交通費支給有) なし (交通費支給無) 7人
25	平成31年1月19日(土) 10:00~12:00	2	ユニコム ラザさがみ はら	25	バイト先でのトラブル を考えよう 基礎日本語力25 コミュニケーション力 25	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「コミュニケーショントラブルを考えよう」 を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 鈴木陽子 萩原カンナ 佐々木利和	(交通費支給有) 高貴小百合 (交通費支給無) 8人
26	平成31年1月26日(土) 10:00~12:00	2	ユニコム ラザさがみ はら	22	基礎日本語力26 コミュニケーション力 26	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 鈴木陽子 萩原カンナ 佐々木利和	(交通費支給有) 高貴小百合 (交通費支給無) 8人
27	平成31年2月2日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大 学	24	交流会(ゲーム) 基礎日本語力27 コミュニケーション力 27	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習を行った。さらには、 簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 萩原カンナ 佐々木利和	(交通費支給有) 斎藤祐香子 (交通費支給無) 8人
28	平成31年2月9日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大 学	15	季節行事(豆まき)基 礎日本語力28 コミュニケーション力 28	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、 簡単な会話を楽しんだ。 中級「自分のことノート」を使い、性格を表す言葉 を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○豆まき体験を行った。また、豆まきや「鬼は外」 の意味を知った。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和	(交通費支給有) 下村実穂 (交通費支給無) 2人
29	平成31年2月16日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大 学	19	基礎日本語力29 コミュニケーション力 29	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、 簡単な会話を楽しんだ。 中級「自分のことノート」を使い、性格を表す言葉 を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 佐々木利和	(交通費支給有) 斎藤美優 (交通費支給無) 5人
30	平成31年2月23日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大 学	16	会話を高めよう1 基礎日本語力30 コミュニケーション力 30	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、 簡単な会話を楽しんだ。 中級「自分のことノート」を使い、性格を表す言葉 を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○面談や面接場面を想定しての会話練習1	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和	(交通費支給有) 下村実穂 (交通費支給無) 9人

31	平成31年3月2日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	16	季節行事(ひな祭り) 基礎日本語力31 コミュニケーション力 31	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、 簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を表す言葉 を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○ひな祭りの意味を知り、折り紙でひな人形を 作った。(教室終了後も継続して実施した。)	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 西春美(通 訳)	(交通費支給有) 下村実穂 斎藤美優 (交通費支給無) 8人
32	平成31年3月9日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	20	会話を高めよう2 基礎日本語力32 コミュニケーション力 32	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、 簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を表す言葉 を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○面談や面接場面を想定しての会話練習2	佐屋麻利子 藤井美香 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 佐々木利和 西春美(通 訳)	(交通費支給有) 下村実穂 斎藤美優 (交通費支給無) 10人
33	平成31年3月16日(土) 10:00~12:00	2	相模女子大学	18	交流会(ゲーム) お別れ進級のお祝 いをしよう 基礎日本語力33 コミュニケーション力 33	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、 簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を表す言葉 を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの 日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○年度内最後の教室なので、交流会を実施し、 大学を卒業する大学生や高校に合格した生徒の 紹介を行った。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和	(交通費支給有) 下村実穂 大城 泰一 (交通費支給無) 7人



### (1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

#### ○取組事例①

【第4回 平成30年6月23日】

写真左は、学習者が大学生ボランティアにインタビューしよう、という内容の授業風景。スタッフがアシストしながら、学習者が左手の女子大学生にインタビューを試みています。学習者が自ら考えた質問を大学生に聞いて、書きとりました。写真右は、中上級者グループの授業の様子です。新聞記事の読解を行い、それについての考えを述べ合うものです。外国につながる若者が将来社会参加するために必要な知識を得て、そのうえで自分の考えをきちんと日本語で表明できることが必要と考え、実施しています。



#### ○取組事例②

【第20回 平成30年11月24日】

この日は午後から取組3のセミナーがあり、午前中の教室の時間に大勢の見学者が来られました。写真左は教室の後ろで見学者にスタッフが説明をしている様子です。教室の見学者には教室の説明の他に、見学のルール、写真撮影の禁止等を毎回説明しています。2018年度には見学者が100名以上来られました。見学者のアンケートには教室が大学と高校との連携体制が良く取れていることや若いボランティアスタッフの参加が多い等の感想をいただきました。写真右は教室終了時点でハロウィンの衣装を着たスタッフがお菓子を配っている様子です。勉強が終わってほっと一息の場面で、普段は次回の教室の確認をしたり、感想を聞いたりしますが、時にはこのようなお楽しみも用意しています。



### (2) 目標の達成状況・成果

日本語教室は、33回実施して、延べ776名の学習者が参加しました。1回あたりの平均が23.5名でした。10代半ば、あるいは後半の外国につながる若者が学ぶ日本語教室として、中学、高校、大学、教育委員会などの教育行政と地域の支援団体との連携によって、定着を図ることができたと思います。また、ボランティアの参加状況は大学生ボランティアが延べ117名、高校生のボランティア参加が延べ37名、社会人ボランティアが延べ122名でした。

学習者は中学生相当年齢(母国で中学を卒業して来日し、高校入学前の学齢者を含む)が延べ486名と63%ですが、高校入学後も日本語学習にやってくる高校生も延べ247名と32%いました。さらにはこの教室から専門学校や大学に入学し、ボランティアとして参加してくれた先輩も延べ38名いました。この教室の目的でもある10代から社会参加までの学習の居場所としての機能も高まってきたと思います。

学習者はアンケートにあるように47名中38名が「満足している」19名が「まあまあ満足している」と答えてくれたように個々の学習ニーズに合わせたグループ別学習方式や大学生や高校生など同世代の若者同士の交流を伴う学習環境が効果的に機能しているものと考えます。

### (3) 今後の改善点について

1時間以上かけて遠方からやってくる学習者も多い点からも、10代中盤以降の外国につながる若者の日本語の学習者のニーズは年々高まっていると感じますが、交通の便や経済的な問題などで参加したいが来られていない学習者も多いと中学校関係者から話を聞いています。高校になってからの参加も受けていますができれば孤立しがちな中学生の時から教室に参加してもらえるよう親への働きかけや仲間と一緒に通所するなど、より一層、ニーズに応えられ得る体制づくりも求められていると思います。

神奈川県内には10代の後半の学習者に対応する学習支援教室はほとんどなく、当教室に集まってくる状況がありますが、今後学習支援教室のネットワークや高校大学連携によって他地域の当教室をモデルとした学習支援教室の設立を検討していきたいと思っています。

学習内容についてはグループごとのレベルに分けて個々のニーズに応じた学習内容の精選が図られ、大学生ボランティアの指導補助者が困らないような体制づくりが出来上がってきています。

＜取組2＞											
取組の名称	高校・大学と連携した学生ボランティア中心の活気ある日本語教室(相模大野教室CEMLA)における実践を通じた人材育成										
取組の目標	高校生や大学生など若い世代の人たちが、地域に住む同世代の外国につながる若者に日本語を教える場として、「取組:1」の日本語教室において、日本語指導の実践を通して日本語教育に関心を持ったり、外国につながる子ども・若者のよき理解者となりうる人材育成を目標として実施します。										
取組の内容	<p>「取組:1」における日本語教室(相模大野教室CEMLA)において、高校生や大学生のボランティアがマンツーマンの日本語指導を実践的に行いながら、地域日本語教育コーディネーターや指導者が指導助言を教室の前後や随時的確に行うことで、若い世代のボランティア育成を行いました。</p> <p>「取組:1」の記述にあるように、学習グループは4つに分け、ボランティアを数人ずつ配置し、コーディネーターや指導者が用意した日本語教材や自主教材を用いてボランティアがマンツーマン形式で指導に当たりました。コーディネーターや指導者は巡回しながら、指導の様子や学習者の状態を観察し、適宜指導助言しました。</p> <p>日本語教室の前後には、ボランティア向けの研修を随時行いました。研修は実践的な日本語指導の方法など技術的なものが中心ですが、同世代の学習者とボランティアが「共に学びあう姿勢」やこれからの多文化社会を生きる市民同士の「ともに新しい社会を作る姿勢」の醸成を念頭に置いた研修も取り入れていく。平成29年度の文化庁委託事業で作成した「研修ビデオ」を活用しました。</p> <p>毎回、ボランティアは活動記録としてボランティア日誌に、活動内容や学習者の様子、反省事項等を記入し、担当のコーディネーターや指導者に提出してもらいました。提出を受けてコーディネーターや指導者がコメント・アドバイスしました。</p>										
<input type="checkbox"/>	空白地域を含む場合、空白地域での活動										
取組による体制整備	当団体がこれまで文化庁の本事業の委託を受けて実施してきた実績を踏まえ、「取組:2」や「取組:3」と合わせて、運営会議や連絡協議会などを通じて、高校・大学と綿密に連携し、高校生や大学生のボランティアの確保や人材育成のための研修などを進めていきました。										
取組による日本語能力の向上	日本語教室(相模大野教室CEMLA)における学習者(外国につながる子どもや若者)の日本語取得については、「取組:1」に記載済みです。 高校生や大学生のボランティアが日本語指導者の指導助言を受けながら、学習者の日本語習得のプログラムを実践してきました。										
参加対象者	国際理解や多文化共生に関心があり、外国につながる子どもや若者への日本語ボランティアを希望する高校生や大学生				参加者数 (内 外国人数)		延べ 297人( 5人)				
広報及び募集方法	高校や大学を通じて、説明会などを実施して募集しました。										
開催時間数	総時間 99 時間				内訳 3 時間 × 33 回						
主な連携・協働先	相模原青陵高校、弥栄高校、神奈川総合産業高校他県内高校。相模女子大学、桜美林大学、青山学院大学、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、さがみはら国際交流ラウンジ、かながわ国際交流財団、あーすぶらざ、大和国際化協会他										
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本	
	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	292
※該当する場合のみ											
実施内容											
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名			
1	平成30年6月2日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	16	新規ボランティアを迎えよう	<p>【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践</p> <p>【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。</p> <p>【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど</p>	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 萩原カナ			
2	平成30年6月9日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	10	ボランティア同士の交流及び研修	<p>【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践</p> <p>【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。</p> <p>【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど</p>	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 萩原カナ			

3	平成30年6月16日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	9	ボランティアの心得 え(1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの状況を考えて。	佐屋麻利子 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
4	平成30年6月23日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	11	ボランティアの心得 え(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの日本語(学習言語)取得のための指導のスキルアップ	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子
5	平成30年6月30日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	7	ボランティア同士の 交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子
6	平成30年7月7日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	13	7月21日の交流会 の企画検討・準備 (1)	新規参加者向け:CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け:日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 教室終了後、指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 7月21日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ
7	平成30年7月14日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	6	7月21日の交流会 の企画検討・準備 (2)	新規参加者向け:CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け:日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 教室終了後、指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 7月21日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ
8	平成30年7月21日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	7	交流会の実施	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)交流会の進行を行ったり、学習者との交流を図った。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ
9	平成30年8月25日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	7	交流会を通して、 外国につながる子ども も若者との交流 を図ろう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(60分)交流会の実施	佐屋麻利子 蔡金燕	妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子
10	平成30年9月8日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	14	学習者からの聴き 取り	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)学習者からの聞き取りを行って、日本語指導に役立てた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ

11	平成30年9月15日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	8	交流会を通して、 外国につながる子ども若者との交流を図ろう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(60分)交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子
12	平成30年9月22日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	7	新規ボランティアを迎えよう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ
13	平成30年9月29日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	9	ボランティア同士の 交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	藤井美香 蔡金燕	妹背真理子 鈴木陽子
14	平成30年10月6日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	7	ボランティアの心得え(1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの状況を考えて。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	妹背真理子 鈴木陽子
15	平成30年10月13日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	12	ボランティアの心得え(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの日本語(学習言語)取得のための指導のスキルアップ	藤井美香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子
16	平成30年10月20日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	7	ボランティアの心得え(3)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの日本語(学習言語)取得のための指導のスキルアップ	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カンナ
17	平成30年10月27日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	10	多文化共生を考 える	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)「多文化共生を考える」…マンガ「クラスメイトは外国人」を用いたワークショップの実施	藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子
18	平成30年11月10日(土) 10:00~13:00	3	ユニコム プラザがみ はら	9	12月16日の交流会 の企画検討・準備 (1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)12月16日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和

19	平成30年11月17日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	9	12月16日の交流会の企画検討・準備(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認(研修30分)12月16日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香	妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和
20	平成30年11月24日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	10	12月16日の交流会の企画検討・準備(3)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認(研修30分)12月16日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和
21	平成30年12月1日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	7	学習者からの聴き取り	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認(研修30分)学習者からの聞き取りを行って、日本語指導に役立てた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カナ 佐々木利和
22	平成30年12月8日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	9	ボランティア同士の交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認(研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	妹背真理子 赤澤千佳子 佐々木利和
23	平成30年12月15日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	9	交流会の実施 当事者の先輩の話を聴こう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(60分)交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カナ 佐々木利和
24	平成31年1月12日(土) 10:00~13:00	3	ユニコムプラザさがみはら	7	百人一首を学習者と一緒に体験しよう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 学習時から実施した百人一首を終了後も学習者と体験した。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 萩原カナ 佐々木利和
25	平成31年1月19日(土) 10:00~13:00	3	ユニコムプラザさがみはら	9	新規ボランティアを迎えよう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認(研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 鈴木陽子 萩原カナ 佐々木利和
26	平成31年1月26日(土) 10:00~13:00	3	ユニコムプラザさがみはら	9	ボランティア同士の交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認(研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香	中原岩夫 妹背真理子 鈴木陽子 萩原カナ 佐々木利和

27	平成31年2月2日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	9	ボランティアの心得 え(1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの状況を考えて。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 萩原カナナ 佐々木利和
28	平成31年2月9日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	3	ボランティアの心得 え(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの日本語(学習言語)取得のための指導のスキルアップ	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和
29	平成31年2月16日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	6	ボランティア同士の 交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 佐々木利和
30	平成31年2月23日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	10	学習者からの聴き 取り	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)学習者からの聞き取りを行って、日本語指導に役立てた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和
31	平成31年3月2日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	10	多文化共生を考 える	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)「多文化共生を考える」…マンガ「クラスメイトは外国人」を用いたワークショップの実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 赤澤千佳子 鈴木陽子
32	平成31年3月9日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	12	3月16日の交流会 の企画検討・準備 (1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)3月16日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香	妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 佐々木利和
33	平成31年3月16日(土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	9	年度の最後のま とめとして、お互い に 会 い や 学 び を 感 謝 し 合 おう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(60分)交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 赤澤千佳子 鈴木陽子 佐々木利和

## (1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

### ○取組事例①

【第10回 平成30年9月8日】

14名の大学生ボランティアが4グループに分かれて学習者への聞き取り(インタビュー)を行いました。学習者が日ごろ感じていることや困っていることなどの質問事項を大学生が考え、学習者に質問し、答えをまとめてレポートにするという内容でした。日々の生活の中で、日本語に困っている学習者が多いことに大学生ボランティアが改めて気づくことができた様でした。将来の夢を聞いていたグループもありました。学習者の答えが「世界で活躍したい」と聞いて、刺激を受けた大学生もいた様でした。



### ○取組事例②

【第33回 平成31年3月16日】

交流会を年3回実施しましたが、企画や運営は大学生ボランティアが行いました。3月に行った交流会では、まずアイスブレイクとしてしりとりゲームを行いました。学習者と大学生ボランティアが協力し合っしりとり言葉を出し合っていました。写真左は時間内に何個答えられたかを見せている様子です。ゲームの後グループで軽食をとりながら交流を行いました。ゲストとして来てくれた先輩(社会人)が仕事(IT関係)の様子などを話してくれました。



## (2) 目標の達成状況・成果

人材育成としてのボランティアの高校生や大学生の参加は、延べ297名でした。

高校生は3つ高校(相模原青陵高校、弥栄高校、和光高校)からの参加でした。大学は13大学(相模女子大学、桜美林大学、青山学院大学、フェリス学院大学、東海大学、明治大学、明治学院大学、横浜市立大学、東京理科大学、帝京大学、横浜国立大学、神奈川大学、法政大学)からの参加でした。外国につながる若者にとっても同世代の日本人の高校生や大学生と接する機会が少ない中、共に日本語を学びあったり、お互いの文化を知り合ったりするこうした場は貴重な場になっていると思います。学習者はボランティアが「フレンドリーで、いろいろ話ができ楽しい」「日本語をわかりやすく丁寧に教えてくれる」「自分の国や言葉に関心を持ってくれた」などボランティアに好印象を持っていました。また、ボランティア側は学習者が「いろいろな国のことがわかって視野が広がった」「日本語を教えることの難しさを知った。日本語を一生懸命学んでいる姿に感動した」など、学習者への理解やボランティアの意識向上につながったと思います。

## (3) 今後の改善点について

若い世代のボランティアの人材育成についてのプログラムが確立し、ボランティアが安心してスムーズに参加できるシステムが出来上がってきたと思います。昨年度文化庁の委託事業で作成した研修ビデオを最初に見てもらい、教室の様子を見学説明し、質問等を受けるのが1回目のプログラムです。状況に応じては体験もしてもらって感じたことなどを終了後に振り返って行ったりしています。改善が必要な点は、ボランティア自身のやりがいや目的意識をどう引き出し、ボランティアの定着を図っていくかです。ボランティアも学校生活との両立や経済的に課題を抱える方もいらっしゃる中で、ボランティアがやりがいを感じ、活動を定着させ、将来、自分のキャリアを考える手掛かりにもらえればと思っています。当教室設立から10年が経ちますが、大学生ボランティアを体験し、その後中学や高校の先生になった方も多数いらっしゃいます。そうした人材育成が広がっていけばいいと思います。

＜取組3＞									
取組の名称	行政機関と学校(中学・高校・大学)と地域を結ぶライフコースに沿った日本語教育整備のための連絡協議会、研究会、セミナーの実施								
取組の目標	「取組:1」「取組:2」の高校や大学との連携、それに伴う地域や行政機関との連携の体制を整備し、本事業の定着を図り、課題や成果を共有しながら地域に発信していく目的で連絡協議会を4回、研究会を2回及び大学生ボランティア研修を目的とした研修会を5回、地域支援者を含めた広域連携を目的としたセミナーを1回実施しました。								
取組の内容	連絡協議会を4月と7月と9月と2月に、研究会を5月と10月に実施しました。(報告は会議報告に記載) また、研修会を5回とセミナーを11月に1回、実施しました。(下記実施内容に記載) 連絡協議会は運営会議の所属団体の実務者に参加を呼びかけ、本事業の成果の発信方法や研究会・セミナーの内容検討。準備などを中心に行いました。 研修会は取組1及び取組2の指導者・指導補助者を講師として大学生ボランティアを対象として5回実施しました。 セミナーは、高校や大学、地域の日本語教育に関わる幅広い人々を対象に11月に弥栄高校で実施しました。 セミナーは、2つの分科会形式で、コーディネーターの武一美を講師とした「高校での日本語教育 ～分かりやすい日本語で学ぶ教科学習の方法～」と三木弁護士を講師とした「在留資格と進路指導について」を実施しました。								
<input type="checkbox"/>	空白地域を含む場合、空白地域での活動								
取組による体制整備	「取組:1」「取組:2」の定着を図り、課題や成果を共有しながら、地域に発信していくためには、協議会的な形式で実務者レベルで連携組織が不可欠です。そのため、運営会議の所属団体の実務者に参加を呼びかけ、連絡協議会を4回、さらには地域に広く参加を呼びかけての研究会を2回、また大学生ボランティア向けの研修会5回と地域支援者を含めた広域向けにセミナーを1回実施して、体制整備を図りました。								
取組による日本語能力の向上	セミナーや研修会を通して、間接的ではありますが、学習者に対する日本語指導のスキルアップが図られたのではないかと思います。								
参加対象者	教育委員会や行政機関の職員、中学校・高校・大学の教員 地域の日本語指導者、相模大野教室のボランティア	参加者数 (内 外国人数)	延べ 121人( 5人)						
広報及び募集方法	セミナーについては、市町村の行政窓口や地域の国際交流組織にチラシ等を配布し、広報を依頼する。SNS等の活用。								
開催時間数	総時間 21 時間	内訳 3 時間 × 7 回							
主な連携・協働先	相模原青陵高校、弥栄高校、神奈川総合産業高校他県内高校。相模女子大学、桜美林大学、青山学院大学、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、さがみはら国際交流ラウンジ、かながわ国際交流財団、あーすぶらざ、大和国際化協会他								
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名	
1	平成30年6月20日(土) 13:00～16:00	3	相模女子大学	16	入門指導のポイント	【入門指導のポイント】 文字(ひらがな、カタカナ、漢字)の教授法と教材の紹介 日本語初期指導で使用する教材の紹介と指導時の注意	鈴木陽子		
2	平成30年9月8日(土) 13:00～16:00	3	相模女子大学	12	初級指導のポイント	【初級指導のポイント】 日本語初級文型と指導法について レアア・生教材の活用法について	赤澤千佳子		
3	平成30年9月29日(土) 13:00～16:00	3	相模女子大学	15	教材を作ってみよう	絵カードの作り方 すごろくづくり 生徒が興味を持って学ぶには	藤井美香		
4	平成30年10月27日(土) 13:00～16:00	3	相模女子大学	21	学習者の背景を知ろう	【学習者を知ろう】 第二言語習得について 外国につながる子どもたちの現状について 外国につながる子どもたちの来日理由とその背景について CEMLAの役割について	佐屋麻理子 妹背真理子 高橋清樹		
5	平成30年11月24日(土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	25	CEMLAセミナー	高校での日本語教育 ～分かりやすい日本語で学ぶ教科学習の方法～	武一美		
6	平成30年11月24日(土) 13:00～16:00	3	相模女子大学	22	CEMLAセミナー	在留資格と進路指導について	三木恵美子		
7	平成31年1月26日(土) 13:00～16:00	3	相模女子大学	10	日本語指導のポイント 中上級編	【中級・上級指導のポイント】 新聞記事の読解について、教材紹介と指導時の注意 「読む」「話す」から「書く」へつなげる指導について	中原岩夫		



### (1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

#### ○取組事例①

【第4回 平成30年10月27日】

相模女子大学を中心とした大学生ボランティア向けの研修会を行いました。昨年度文化庁委託事業で作成したビデオを用いたり、日本語指導者・補助者のスタッフが講師を担当したりして研修会を進めました。内容は以下の通りです。

【学習者を知らう】

第二言語習得について

外国につながる子どもたちの現状について

外国につながる子どもたちの来日理由とその背景について

CEMLAの役割について



#### ○取組事例②

【第5回及び第6回 平成30年11月24日】

「CEMLAセミナー」と題して、地域の支援者を含めた公開でのセミナーを実施しました。最初2つの分科会に分かれてテーマ別に講師の話聞き、参加者からも日頃感じていることや悩んでいることなど課題等を出し合って協議しました。分科会のテーマは次の2つです。

「高校での日本語教育 ～分かりやすい日本語で学ぶ教科学習の方法～」講師 武一美

「在留資格と進路指導について」講師 三木恵美子弁護士

分科会の後はそれぞれの分科会で話された内容を共有する目的で全体会を実施しました。(写真右)

全体の参加者は47名でした。詳細は別添参照してください。



### (2) 目標の達成状況・成果

セミナー及び研修会の参加者数は延べ121名でした。また、別シートにある連絡協議会は5回開催し、参加者総数は62名、研究会は2回開催し、参加者総数は15名でした。

いずれも会議を通してCEMLA教室円滑な運営に反映し、また、他団体との連携がスムーズに行われ、連携の輪が広がったと思います。そうした点から、十分な成果があったと思います。セミナーに参加した方の感想をいくつか取り上げると、学校関係者からは、「CEMLA教室が外国につながる若者の居場所としてなくてはならないものになっている。うちの生徒も多数お世話になっている。感謝したい。」地域の支援者からは、「困った時のCEMLAとしていろいろなケース相談を受けていただき助かっている。」などがあげられます。

### (3) 今後の改善点について

・連絡協議会は当団体(NPO)と高校、大学の連携強化のために重要な役割を担い、その拡大版としてのCEMLA研究会、さらに地域に開かれたCEMLAを知ってもらう機会としてのCEMLAセミナーと、それぞれの目的や段階としてこの取り組みを実施しました。また、研修会も大学連携の一つとして行ないました。後述のように来年度からは県教育委員会主導のもと、こうした体制が継続されます。

＜取組4＞										
取組の名称	高校生や大学生ボランティアが考える若者向け「日本語学習」の実践									
取組の目標	高校生や大学生が外国につながる子ども・若者の日本語ボランティア行っているメリットを生かし、実践的な「日本語学習」を実施し、その教材や効果を成果としてまとめました。日本語学習にあたっては、学習者のニーズ等を調査し、より実践的で実用的なものとするを目標としました。学習者が「どんな場面で日本語にこまっているのか」を考えたり、「どのような日本語学習が効果的か」を考えたりして、今後も当教室でも実施できるものとなりました。									
取組の内容	<p>学習者のニーズ等を調査し、より実践的で実用的な日本語学習を実施するため、学習者が「どんな場面で日本語にこまっているのか」を考えたり、「どのような日本語学習が効果的か」を考えたりして、日本語学習を実施しました。実施にあたっては、標準的なカリキュラム案を参考に企画を作り、日本語指導コーディネーター(中核メンバー)が助言しました。</p> <p>主な内容案としては、次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューやSNSの活用した日本語学習</li> <li>・世界を知ろう！(社会科教材を通した日本語学習)</li> <li>・百人一首を通して日本の文化に触れ、ルールを学ぶ。</li> <li>・日本の文化に触れ、折り紙を使ってひな人形を作ることで日本語の説明を理解する。</li> </ul> <p>実施した日本語学習の様子は写真やビデオ教材として、今後学習教室で利用するとともに、セミナーや研究会などで関係の日本語教室に提供する予定です。</p>									
<input type="checkbox"/>	空白地域を含む場合、空白地域での活動									
取組による体制整備	「日本語学習」の実施した様子を他の日本語教室に提供することで、高校生や大学生による日本語ボランティアの普及拡大につながりました。また、セミナーや研究会で発表することで、連携強化が図られました。									
取組による日本語能力の向上	「日本語学習」の実施した様子を他の日本語教室に提供することで、高校生や大学生による日本語ボランティアの普及拡大につながり、間接的に外国につながる子ども・若者の日本語取得の機会拡大につながりました。									
参加対象者	相模大野教室(CEMLA)で学ぶ日本語学習者及び高校生や大学生などのボランティアスタッフ	参加者数 (内 外国人数)	99人(36人)							
広報及び募集方法	高校生や大学生の日本語ボランティアは「取組:1」において、高校や大学を通じて募集しました。「日本語学習」の実施については、相模大野教室(CEMLA)の高校生や大学生全員を対象としました。									
開催時間数	総時間 5 時間	内訳 1 時間 × 5 回								
主な連携・協働先	相模原青陵高校、弥栄高校、神奈川総合産業高校他県内高校。相模女子大学、桜美林大学、青山学院大学、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、さがみはら国際交流ラウンジ、かながわ国際交流財団、あーすぶらざ、大和国際化協会他									
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	11		6			3		5	6	63
※該当する場合のみ	ミャンマー(3人)、パキスタン(2人)									
実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名		
1	平成30年10月27日(土) 12:00~13:00	1	相模女子大学	45	インタビュー SNSの活用	インタビューを受ける体験とインタビューする体験の両面からどのような日本語使って行えばいいかを考えさせたり、インタビューの質問事項を考えさせたりした。また、SNSを使ったコミュニケーションの仕方についても学んだ	永谷直子 高橋清樹			
2	平成30年11月17日(土) 12:00~13:00	1	相模女子大学	8	世界を知ろう1	日本の歴史について、わかり易い日本語を使って、言葉の意味やその時代の状況について授業を行った。また、自分の国の歴史と日本の歴史を重ね合わせながら理解しやすいように勧めた。	武一美 高橋清樹			
3	平成30年12月1日(土) 12:00~13:00	1	相模女子大学	8	世界を知ろう2	前回に引き続き、江戸時代以降の歴史を学んだ。	武一美 高橋清樹			
4	平成31年1月12日(土) 12:00~13:00	1	ユニコムプラザ	28	百人一首	百人一首とはカードの読み方練習、ゲーム	冠野由紀子			
5	平成31年3月2日(土) 12:00~13:00	1	相模女子大学	10	折り紙づくり	教室から引き続き、折り紙づくりを行った。作り方の説明を日本語で聞き取り、大学生ボランティアと一緒に折り紙のひな人形を作る授業を行った	山下ジュリア 真由美			

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第2回 平成30年11月17日】

「世界を知ろう」と題して世界の歴史を扱ったテキストを元に当事業のコーディネーターである武一美が授業を行いました。対象生徒はパキスタン出身の学習者でした。テキストは武一美が関わったわかり易い日本語を用いた世界の歴史教科書です。取組3のセミナーでも話題となった、高校での教科学習でどう日本語指導をしていくか、一つのモデルとして行ないました。教科指導は学校の先生、日本語指導は日本語の先生という分け方で、中学や高校で学ぶ生徒が日本語が身につく、教科学習が理解できるのか、セミナーでも大きな議論となりました。学校の先生が日本語指導を取り入れた教科学習を進めていくためにもこうした日本語学習の成果を広げていきたいと思ひます。



○取組事例②

【第4回 平成31年1月12日】

教室終了後に、学習者とボランティアで「実践的な日本語学習」取り組みとして百人一首を行いました。百人一首は、ひらがなのみで書いてありますが、旧字体の説明やルールの説明をわかり易い日本語で行い、録音テープを使って百人一首を行いました。最初は戸惑っていた学習者も段々慣れて来て、下の句で出してからすぐに札をとれる学習者もいました。終わった後には有名な百人一首の句の意味を尋ねる学習者もいました。



○取組事例③

【第5回 平成31年3月2日】

教室から引き続き、折り紙でのひな人形づくりを行いました。作り方の説明をする講師の先生の話を日本語で聞き取り、大学生ボランティアと一緒に折り紙のひな人形を作る授業を行いました。折り方や順序などわからないことを自分から聞きながら作っていく細かい作業はなかなか大変でした。予定時間よりも大幅に時間がかかりましたが、完成したもの(写真右)を見て学習者はとても満足気でした。



(2) 目標の達成状況・成果

計画していたビデオ教材作りまでできなかったのが反省として挙げられます。昨年度文化庁委託事業で作成したビデオ教材の作成者に、今年度も依頼していましたが、残念ながらお仕事の関係で時間が取れなかったためです。昨年度のボランティア向け研修教材は大変好評でボランティアの研修時に毎回使用しています。今回も昨年作成してくれた若者の感性に期待していましたが、今回は教材作成までは至りませんでした。ビデオ素材としての日本語学習は実施できたので、それを活かしていきたいと思ひます。

(3) 今後の改善点について

昨年度文化庁委託事業で作成したビデオ教材の作成者に、今年度も依頼していましたが、残念ながらお仕事の関係で今回は教材作成までは至りませんでした。ただ、実際に実践的な日本語学習を行うことができ、その未編修ビデオもあるので、今後それを教材化していきたいと思ひます。また、「世界を知ろう」のような教科と日本語を結びつける学習教材や指導方法の実践普及にも努めていきたいと思ひます。

## 4. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的・目標

当団体は、平成29年度まで文化庁の委託事業(「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム)を実施してきました。その実績により構築された、幅広い地域連携を生かして、高校生や大学生(外国につながる当事者も含む)の活用による外国につながる子ども・若者のライフコースに沿った日本語教育支援体制を地域連携モデルとして構築することが目的です。連携によって構築された日本語教室の運営や連携によるセミナーなどの成果を発信し、先駆的な取り組みとして他地域にも広がることも目的としています。

### (2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

・日本語教室の実施、ボランティアの人材育成、地域連携による運営やセミナーの実施という3つの柱はいずれも予定通り、実施し成果を上げることができました。ただ、残念ながら取組4の日本語ビデオの作成は依頼していた作成者の都合がつかず、ビデオ教材化にまでは至りませんでした。日本語教材作成のニーズ把握や内容の検討を図ることができたので、今後には生かしていきたいと思えます。事業の目的にあるように「外国につながる若者」が本教室のような場所を求めているというニーズについては、当事者だけでなく多くの支援者の参加(ボランティア参加延べ297人や見学者数約100人)からもわかります。また、学習者へのアンケートの満足度の高さからも言えることです。日本語教室と並行してボランティアの人材育成を実施しました。高校生や大学生のボランティアが安定して参加してくれたのも日本語指導者とボランティアのグループ指導体制の成果が大きかったと思えます。ボランティアがその日の振り返りをボランティア日誌に書き留め、指導者がコメントを書くというやりとりも有効でした。今後もこの体制を維持して、多くの外国につながる若者が社会参加を果たす場として機能させ、さらにはロールモデルとして次の世代の若者に対する意識付けをもたらす好循環が起きよう働きかけたいと思えます。

### (3) 地域の関係者との連携による効果、成果等

・相模原日本語教室(CEMLA教室)は、地域の支援者が新規学習者を伴って来訪することも多く、見学者だけでも総数は100名を超えています。また、相模原市教育委員会をはじめとした各市(大和市、海老名市、厚木市、横浜市)の教育委員会とも連携を図っているため、連携は各地域でそれぞれの中学校や日本語教室なども連携がなされています。いくつか例をあげると、①相模原市内の日本語学習教室の連携会議が相模原市教育委員会の呼びかけで行われました。当教室も参加し情報交換を行いました。その結果、他の支援教室から当教室への来所見学も増えました。②厚木市・横浜市・藤沢市・川崎市の教育委員会の国際教室等担当者会議やさがみはら国際交流ラウンジ・あーすぶらざ教育相談・横浜市国際交流ラウンジなどの研修会に講師を派遣し、CEMLA教室の状況や実践報告を行いました。④神奈川県教育委員会の主催する教員向け研修会に講師を派遣し、CEMLA教室について状況や実践報告を行いました。また、日本語教育の成果についても報告しました。上記のような活動を通して地域との連携や発信などを図りました。

### (4) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・相模原日本語教室(CEMLA教室)についての広報は、地域の中学校や高等学校及び日本語教室や学習教室のある公共施設にチラシを設置しました。また、SNSなどのネット環境で情報を得てやってきたり、日本語指導者や中学校の先生など支援者からの勧めによるものも多かったです。また、同じ国の出身者同士のコミュニティでの口コミでCEMLA教室を紹介されてやってきたケースも多かったです。連携団体のあーすぶらザ、かながわ国際交流財団、大和国際化協会、さがみはら国際交流ラウンジの広報誌やWEBサイトの情報などでも紹介していただきました。その結果、対象となる相模原、大和、座間、海老名、厚木、藤沢をはじめ、遠くは秦野、愛川町、横浜、川崎からも学習者がやってきました。CEMLA教室の存在や実績が様々な場で認められていると感じます。

### (5) 改善点、今後の課題について

当CEMLA教室は、文化庁の委託事業として、ここ数年続けてきた成果により、高校や大学との連携体制が整い、次年度(2019年度)より神奈川県教育委員会の主導のもとに外国につながる生徒が多い高校10校が運営協議会方式で当NPOと連携して実施することになりました。予算も県から執行される予定です。運営協議会とは別に取組3のような協議会や研究会及びセミナーも継続される予定です。研究会やセミナーには各市の教育委員会も参加し、中学校から高校、そして高校から大学、社会へつながる支援のネットワーク強化と社会参加を見通した「日本語教育」の整備が求められています。地域のセンター的な役割を強化しつつ、他の地域へのモデル事業となるような成果を積み上げていきたいと思えます。

### (6) その他参考資料

- ・教室の案内チラシ ※携帯番号の記載があるため、HPIには掲載していません。
- ・セミナーの案内チラシ
- ・セミナーの報告書